



# IT Business Office In Shirahama

2021/Winter ver





# 白浜町の概要

和歌山県の南西部（紀南地方）にある人口約21,000人の町で、年平均気温16.8℃、温暖な気候です。

白浜町は3地域に分かれており、主に観光業を主産業とする白浜地域、農業・漁業を主産業とする富田地域、農林業を主産業とする日置川地域からなります。

町内には小学校が9校、中学校が4校、高校は町内にはなく、近隣市町の田辺市や上富田町の高校へ進学します。高校卒業後に進学する場合は、関西圏及び関東圏の大学に進学するため、若者の県外流出が課題となっています。（高校卒業後の県外進学率が約40年日本一だった）

観光客数は年間約300万人以上で、近年はインバウンドが増加しており、年間約10万人の外国人が訪れています。内訳としては、台湾、香港、中国、韓国などの東アジアが中心です。

町内には県内唯一の飛行場である「南紀白浜空港」があり、一日3便（朝、昼、夕）が羽田空港間を約60分で結んでいます。平成31年4月1日から県から民間に経営が移り、過去最高の搭乗者数（約16万人）を記録しており、特にビジネスパーソンの利用者が増加しています。

※IT関連の視察やワーケーション、串本町での民間ロケット発射場関連等

防災面では、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）と協定を結び、「耐災害ネットワーク」（Nerve Net）の実証実験を開始し、基地局同士を網目状に結ぶことで災害時でも途切れないネットワークを構築しています。また、平時利用も考慮し、普段は観光客等が利用できるフリースポット（Shirahama Beach Wi-Fi）としても活用し、白良浜や千畳敷等の観光名所もフリースポットとなっており、白良浜ではビーチ全体がフリースポットで同時接続者数も約2,500人と大規模なものとなっています。



# 白浜町の企業誘致について

“白浜・田辺は県のIHS構想の拠点地域“

IHS構想とは、白浜・田辺地域の持つ豊かな自然環境と人材資源、恵まれた交通アクセスを活用して、情報通信関連産業の集積を促進し“温泉が湧き出す”ごとく新技術や新産業が次々と生まれてくる創造的な地域を作っていこうという構想。IHSとは、Innovation Hot Springsの頭文字から。

平成16年から企業誘致を開始し、2社が入居することとなりましたが、1社は平成19年に、残る1社も平成22年に退室し、そこから平成26年まで全室空室状態が続いていました。平成26年に県と連携して企業誘致を進めていくこととなり、同年に2社の入居が決まり、翌年の株式会社セールスフォースドットコム及びパートナー企業の入居でITビジネスオフィスへの入居企業が増加しました。

平成29年にはITビジネスオフィスが満室になったことに伴い、地方創生交付金等を活用して町内の平草原公園管理事務所を取り壊し、1階を管理事務所、2階をITオフィスとした第2ITビジネスオフィスを新たに開設しました。

平成30年6月より稼働を開始した第2ITビジネスオフィスもわずか4カ月で4室が満室となりました。



# 白浜町 | ITビジネスオフィスについて



- ◆ ITビジネスオフィス（白浜町 2998-119）・・・平成16年1月開設（H16.1.1 条例制定）
- ・元明治生命保養所（延床面積 1,170㎡、敷地面積 2,023㎡、鉄筋コンクリート2階地上1階）
- ・用地費含む改修事業費 1億1千2百万円（買取額 4,868万円）
- ・県の補助金（IHSリーディングオフィス整備事業補助金）約5,000万円。残りは起債
- ・若者の雇用機会の創出や町内消費活性化の契機とする。情報関連専用の賃貸オフィス。
- ・白良浜周辺を一望できる絶景のロケーション

- ◇施設管理者 白浜町
- ◇所在地 西牟婁郡白浜町2998番地の119
- ◇延床面積 838㎡（業務室1室31～91㎡・倉庫1室12～34㎡）
- ◇竣工 平成16年1月
- ◇賃貸価格 賃室料1,260円/㎡・月 倉庫料1,050円/㎡・月  
※賃室料には、共有部分の電気料、ガス、水道等の共益費を含む。
- ◇現在入居社 令和2年11月現在
  - ①メディスト株式会社
  - ②NPO法人和歌山IT教育機構
  - ③メディストサニテ株式会社
  - ④株式会社セールスフォース・ドットコム▷株式会社ブイキューブ → 第2ITビジネスオフィスへ移転
  - ⑤NECソリューションイノベータ株式会社



# 白浜町第2 ITビジネスオフィスについて



◆第2 ITビジネスオフィス（白浜町 2054-1）・・・平成30年6月開設  
・公園管理事務所を建替、1階部分を管理事務所とコワーキングスペース、2階をオフィスに。  
・改修事業費 約2億1千万円（国1/2、県1/4、町1/4）※地方創生交付金を活用  
・ITビジネスオフィス満床に伴い、新たに開設した賃貸オフィス。  
・公園内の自然に囲まれた閑静な立地

◇施設管理者 白浜町

◇所在地 西牟婁郡白浜町2054番地の1

◇延床面積 751.99㎡

◇構造等 鉄骨2階建

1階コワーキングスペース（一般開放）

2階オフィス（4部屋：100㎡1室・60㎡3室）

◇竣工 平成30年6月

◇賃貸価格 賃室料1,260円/㎡・月

※賃室料には、共有部分の電気料、ガス、水道等の共益費を含む。

◇現在入居社 令和2年1月現在

①株式会社ブイキューブ

②we株式会社（株式会社subLimeから業務譲渡）

③三菱地所株式会社

④株式会社ウフル



# 白浜町が選ばれる理由

## ◆ 5つのポイント

### ▷ 東京からの距離感

羽田空港から約60分、南紀白浜空港から5～10分でオフィスや街中を訪れることができる

### ▷ 和歌山県の奨励金制度

オフィス賃料や航空運賃の半額補助等（要件あり、3年間）

### ▷ 全国有数のリゾート

白良浜がワイキキビーチが姉妹浜提携、紀伊半島が世界的旅行誌で訪れるべき地域に選出

### ▷ 耐災害ネットワーク

国の機関と実証実験として運用、災害時の安否確認等

### ▷ 町のサポート

進出後も継続的にサポート、社員に対しても移住後のサポートを実施



## 町のサポート

白浜町は平成19年7月、平成22年8月に入居企業が退去するという出来事がありました。退去の理由としては、入居企業側は町営オフィスビルということもあり、自治体や地元事業者との協働を期待していましたが、町としてはあくまでも施設の所有者として施設の管理は行うだけで、入居企業との意思疎通ができていなかったことが主な理由であると退去時のヒアリングにより把握することができました。その反省を生かして、白浜町では企業の定着化に着目した取り組みを進めています。

具体的な取り組みとしては、地元事業者や各種団体等と入居企業の橋渡しやボランティア活動の紹介等、ビジネスやCSR活動を通じて、町に根付いていただけるような様々な活動を町がハブになって取り組んでいます。また、入居企業も積極的に地元に溶け込むため、子ども向けのプログラミング教室等を開催しています。

移住してきた方に対しても、医療・買い物・食事等、地方で生活する中でも住みやすい地域を紹介したり、休日の過ごし方等、プライベート面でもサポートに取り組んでいます。入居企業間の交流も進めており、定期的に入居企業の方たちにお声がけし、交流いただける機会の創出に取り組んでいます。



プログラミング教室の開催



地元の秋祭りへの参加



マラソン大会へ選手・スタッフとして参加

## 第3のICTオフィス

民設民営でのレンタルオフィスが2020年11月、白浜町にオープンしました。

レンタルオフィス全7室にコワーキングスペースを2カ所設けた“**ANCHOR（アンカー）**”では白浜町で新たなイノベーションを創出していただける企業を募集しています。

サテライトオフィス、テレワーク、ワーケーションの先進地「白浜」に進出してみませんか？

※2021年1月現在で3室が空室





一緒に“シラコンバレー”を目指しませんか？



白浜町

企業誘致HP

